

令和8年第2回庄原市議会定例会

一般質問通告者 及び 質問事項

3月13日・3月16日

質問順位

【代表質問】

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 市民の会 | (堀 井 慎一朗) |
| 2. NEXT | (國 利 知 史) |
| 3. 未来のたね | (吉 川 遂 也) |
| 4. 清和会 | (桜 田 亮 太) |

【個人質問】

- | | |
|------------|------------|
| 1. 岡 野 茂 | 2. 横 路 政 之 |
| 3. 堀 内 富 夫 | 4. 谷 口 隆 明 |

庄 原 市 議 会

令和8年3月定例会 一般質問

【 代表質問 】

順位	会派名 (質問議員)	質問項目	ページ
1	市民の会 (堀井慎一郎)	持続可能な財政運営と第3期長期総合計画との整合について	1
		長期総合計画の実効性を支える組織力の確保と職員体制について	2
2	NEXT (國利知史)	施政方針及び令和8年度予算について	4
3	未来のたね (吉川遂也)	施政方針に基づく市政運営と財政健全化の両立について	7
		「庄原版まちづくり」の調査検討と実効性の担保について	8
4	清和会 (桜田亮太)	5つのリーディングプロジェクトについて	9
		農業の次世代継承について	9
		森林境界明確化事業について	10

【 個人質問 】

順位	質問議員	質問項目	ページ
1	岡野 茂	観光振興につながる施策・事業について	11
		地域課題の解決に向けた取り組みについて	13
2	横路政之	施政方針における本市のまちづくりについて	14
3	堀内富夫	新しい挑戦のためのリーディングプロジェクトについて	15
		世代と組織の壁を越え、市民の力を活かす仕組みづくりについて	17
4	谷口隆明	施政方針と市長の重点施策について	18
		国民健康保険の広域化による保険料の完全統一化は再考を	20

一般質問日程 3月13日(金) 代表質問(1～4)

3月16日(月) 個人質問(1～4)

【代表質問】

順位	1	会派名	市民の会	質問者	堀井 慎一郎
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を 求める者
1. 持続可能な財政運営と第3期長期総合計画との整合について	<p>本市は、人口減少の進行、税収基盤の縮小、経常収支比率の高止まり、さらには財政計画において財政調整基金残高の減少が見込まれるなど、構造的な財政課題を抱えている。</p> <p>令和8年度からスタートする第3期長期総合計画は、本市の最上位計画であり、将来像の実現に向けた政策・施策の羅針盤であるが、その実効性は財政的裏付けと不可分である。</p> <p>計画の理念と財政の現実をいかに接続させるかは、本市の将来責任に直結する重要な論点であることから、次の点について市長の基本的な考えを伺う。</p> <p>(1) 第3期長期総合計画に掲げる施策体系における各事業について、今後の財政見通しとの整合はどのように確保されているのか伺う。</p> <p>特に、計画期間中の一般財源所要額について、総額ベースでの推計や年度間の財源配分調整をどのように行っていくのか、考えを伺う。</p> <p>(2) 第3期長期総合計画の実効性を担保するためには、財政規律の明確化が重要であると考えるが、経常収支比率の目標水準、財政調整基金の最低確保額、実質公債費比率および将来負担比率の管理目標など、計画期間中に維持すべき財政指標について、具体的な目標設定を行う考えはあるのか伺う。</p>				市長

【代表質問】

順位	1	会派名	市民の会	質問者	堀井 慎一郎
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	
1. 持続可能な財政運営と第3期長期総合計画との整合について	<p>(3) 人口減少が進行し、財政的にも厳しい状況が見込まれるなか、従来の施策・事業をすべて維持することは現実的に困難であり、施策の選択と集中、すなわち優先順位の明確化が不可欠であると考ええる。</p> <p>市長が掲げられた「PEACE-full」をはじめとする重点事業について、財源配分上の優先順位はどのような基準で整理されたのか、また、財源的制約が生じた場合、実施時期の見直しや事業規模の縮減を検討する判断基準は設けているのか伺う。</p>			市長	
2. 長期総合計画の実効性を支える組織力の確保と職員体制について	<p>第3期長期総合計画が4月からスタートするが、計画は「策定」することが目的ではなく、「実行」することにその本質があると考ええる。</p> <p>その実行主体は、市役所職員をはじめとする行政組織であるが、現状は、職員数の減少、採用環境の厳しさ、さらには技術職・専門職の不足といった課題が顕在化している。</p> <p>このような状況のもとで、計画を着実に推進していくためには、組織体制の整備と人的資源の確保が不可欠であることから、次の点について、市長の認識と今後の方向性を伺う。</p> <p>(1) 本年度末における退職者数および新規採用者数はそれぞれ何名となる見込みか。</p> <p>また、新年度における技術職・専門職の充足状況について、業務量に対する必要人員の充足率はどのような状況にあるのか伺う。</p>			市長	

【代表質問】

順位	1	会派名	市民の会	質問者	堀井 慎一郎
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	
2. 長期総合計画の実効性を支える組織力の確保と職員体制について	<p>(2) 予算決算常任委員会において、「PEACE-full」の実行体制については、「組織横断的に取り組む」との説明がなされ、各部長をリーダーとして事業を推進していくとの答弁があったが、各部においては既に所管する通常業務を抱えており、その上で本プロジェクトを推進することは、職員にとって相当の負担となることが想定される。</p> <p>また、兼務体制では意思決定の迅速性や責任の所在が曖昧になる懸念もある。</p> <p>重点施策である「PEACE-full」を確実に推進するためには、既存組織の枠を超えた専任的・プロジェクト型の体制を構築すべきと考えるが市長の見解を伺う。</p>			市長	

【代表質問】

順位	2	会派名	N E X T	質問者	國利 知史
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を 求める者
1. 施政方針及び 令和8年度予 算について	<p>(1) 昨年4月に八谷市長が就任し、一年が経過しようとしている。</p> <p>市長は、「安心な暮らしが充実し、庄原に関わる人の未来がつながっていくまち」を本市の目指す姿とし、第3期長期総合計画の策定をはじめ、新たな視点を取り入れた、令和8年度予算の編成など、目指す姿の実現に向けた取り組みをスタートされた。</p> <p>令和8年度予算は市長にとって初めての予算編成であり、実質八谷市政のスタートと言えるが、市長は、今後目指す姿の実現に向けてどのように市をリードし、市政運営に取り組んでいくのか伺う。</p> <hr/> <p>(2) 令和8年度予算の特徴的な施策としてPEACE-full を掲げ、五つのリーディングプロジェクトを分野横断的に進め、本市の目指す将来像の実現に向けての取り組みを加速させるとしている。</p> <p>PEACE-full は本市の持つ強みや特徴を活かし、他自治体にはない魅力を作り上げ、競争力を高めていき、比較優位に立つための戦略的施策であると理解する。</p> <p>令和8年度はプロジェクトのスタート年と位置づけ、「PEACE-full、始動。」をキャッチフレーズに取り組みがスタートするが、この施策に込められた市長の思いを伺う。</p>				市長

【代表質問】

順位	2	会派名	N E X T	質問者	國利 知史
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を 求める者
1. 施政方針及び 令和8年度予 算について	<p>(3) 第3期長期総合計画では、「安心な暮らしの充実」「将来につながっていく仕組みづくり」「市民の期待に応え将来を担う人的資源の育成」の3本の柱を軸に施策を展開していくことになる。</p> <p>その中で市長は、これまで地域の活力を生み出す産業であった第一次産業について、「基盤産業」としての再生を果たすと述べられており、令和8年度予算では「将来に希望がつながっていく仕組みづくり」の中の農林水産業費が、昨年度に比べ大幅に増額されていることを見ると、一次産業の基盤産業への再生に力を入れていくという意志が感じられる。</p> <p>市長が言う一次産業の基盤産業としての再生とは、どのような状態になれば再生を果たしたと言えるのか。また、どの程度の期間を目途に再生を果たそうとしているのか伺う。</p>				市長
	<p>(4) 市長は市長就任後の6月定例会の所信表明演説で、本市の将来の目指すべき姿を具体的な数値指標に置き換えると、「市内の合計特殊出生率が人口置換水準付近まで向上し、社会動態の増減が均衡に近い状態」と述べられているが、その指数を実現させるためには、若い世代の流出を防ぎ、Iターン・Uターンを含む移住・定住を促進すべきと考える。</p> <p>施政方針演説では、人口減少への適応の分野</p>				

【代表質問】

順位	2	会派名	N E X T	質問者	國利 知史
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を 求める者
1. 施政方針及び 令和8年度予 算について	<p>で移住・定住の促進に触れられているが、令和8年度予算を見ると、定住促進関連の予算は前年度とほぼ同額である。これまでの取り組みと同様の予算で、どのようにして移住・定住の促進を図っていくのか伺う。</p> <p>(5) 本市の地域公共交通について、市長は施政方針演説で「誰もが必要な時に必要な場所へ移動できる地域公共交通の実現に向けて市民の生活基盤の充実を図る」と言われた。</p> <p>今年度策定の第2期地域公共交通計画を具現化するため、より一層、事業者と協働して施策を展開することが重要と考えるが市長の見解を伺う。</p>				市長

【代表質問】

順位	3	会派名	未来のたね	質問者	吉川 遂也
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	市長
1. 施政方針に基づく市政運営と財政健全化の両立について	<p>市長は令和8年度施政方針において、「優先順位の明確化による課題の着実な解決」を掲げ、新プロジェクト「PEACE-full」による成長戦略を提示された。</p> <p>この前向きな姿勢は評価するが、予算案や将来推計から懸念される「施策の具体化と財政の持続可能性」の整合性について伺う。</p> <p>(1) 予算編成方針に掲げられた「ビルド&スクラップ」の徹底に対し、予算案における経常収支比率は98.8%と極めて高く、一般財源所要額も前年度比で約3.2億円増加している。</p> <p>この現状は、市長が掲げる「優先順位の徹底」が、既存事業の縮小・廃止といった実効性のある財源捻出にまで十分反映されていないことを示唆しているのではないか。</p> <p>新規プロジェクトを推進する一方で、具体的にどの事務事業を整理し、健全な財政バランスをどう構築したのか、その判断基準を伺う。</p> <p>あわせて、業務増に伴う組織の疲弊を防ぐための抜本的な業務量見直し策について伺う。</p>			市長	
	<p>(2) 令和13年度に基金残高が約6.8億円まで激減する危機的な将来予測と、市長の掲げる「持続可能性」の論理的整合性、新たな財政運営プランにおける収支改善の道筋を伺う。</p>				

【代表質問】

順位	3	会派名	未来のたね	質問者	吉川 遂也
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を 求める者
2. 「庄原版まちづくり」の調査検討と実効性の担保について	<p>(1) 令和5年10月に人口減少下における持続可能な都市経営を目指し、「集約型都市構造」を定義した立地適正化計画を運用開始した。</p> <p>将来的な行政コストの抑制と都市機能の維持において、当該計画の必要性は認めているが、一方で市長は「単なる集約とは異なる住み慣れた地域で暮らし続ける仕組み」として、庄原版コンパクト+ネットワークの理念を強調されている。</p> <p>拠点への投資による効率化(集約)と周辺地域の生活基盤の維持(分散)は、財源が限定される中で相反する側面を持つ。</p> <p>これら二つのベクトルをいかに調和させ、全域の持続可能性を確保するのか。また、新たに予算化された「まちづくりビジョン検討業務」が、既定の集約方針をどう補完・修正し、具体的な「相乗効果」を生み出すのか見解を伺う。</p> <p>(2) 「食糧とエネルギー自給の推進」において、支出抑制による「豊かさの創出」が提示されているが、次年度の調査委託にあたっては、単なる資源量の把握に留まらず、過去のバイオマス事業における重大な教訓をいかに反映させるのか。失敗を繰り返さないための「事業手法の選定基準」や「出口戦略」の精度、および本格実施へと舵を切るための客観的・定量的な判断基準を伺う。</p>				市長

【代表質問】

順位	4	会派名	清和会	質問者	桜田 亮太
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	
1. 5つのリーディングプロジェクトについて	<p>(1) 市長は令和8年度施政方針演説で、「他の自治体にはない魅力を創りあげ、競争力を高めることが重要であり、比較優位に立つための戦略的取組を実施し、具体的な成果をあげていくことが不可欠」と述べ、こうした観点で構築された5つのリーディングプロジェクト「PEACE-full」を掲げた。</p> <p>この5つのうち、特にどのプロジェクトに強い思いをお持ちなのか見解を伺う。</p>			市長	
	<p>(2) この5つの事業は、直ちに効果が表れるものだけでなく、中長期の視点で継続すべきものも含まれると認識している。</p> <p>理念と違う結果や状態が明白になった場合、どのように対応しようと考えているのか、市長の考えを伺う。</p>				
2. 農業の次世代継承について	<p>(1) 市長が基盤産業として位置づけている農業について、持続可能で競争力のある農業経営の確立に向けた「戦略型成長農業推進事業」と次世代継承を目的とした「地域承継型農業支援事業」に取り組むとされている。</p> <p>この二つの事業に取り組むうえで、本市の課題である農業の担い手確保対策をどのように取り組むのか見解を伺う。</p>			市長	

【代表質問】

順位	4	会派名	清和会	質問者	桜田 亮太
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	
2. 農業の次世代 継承について	<p>(2)兼業農家等の中小規模の農業者の確保及び支援が必要だと認識している。</p> <p>これら中小規模農業者を本市の農業の担い手としてどう位置付け、どのような支援を行うのか見解を伺う。</p>			市長	
3. 森林境界明確 化事業について	<p>林業においては、森林境界の明確化を最優先課題に位置付け、リモートセンシングを活用した立木及び土地の所有権界等の調査を実施し、森林整備の推進と計画的・安定的な木材生産を図るとしているが、具体的にどのような計画で進めようとしているのか、見解を伺う。</p>			市長	

【個人質問】

順位	1	質問者	岡野 茂	答弁を 求める者	市長
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	
1. 観光振興につながる施策・事業について	<p>人口が減少していく中であって、本市の活力を維持しさらに高めていくためには、観光事業の推進に重点的に取り組む必要がある。</p> <p>今一度、本市が有する多様な資源をブラッシュアップし、にぎわいとさらなる魅力を創出することで、本市への人の流れを加速させ、観光入込客と観光消費額を増やしていく新たな取り組みが求められている。</p> <p>(1) 令和8年度に観光振興計画の策定に取り組むとされているが、現時点で何を重点的に取り組もうとしているのか、市長の考えを伺う。</p> <hr/> <p>(2) かつてのセットストックのような大規模コンサートや、スポーツ・文化事業などの集客イベント等を誘致し開催することは、すそ野の広い観光関連事業者の活性化につながり地域経済の好循環の流れを加速させることになる。</p> <p>こうした取り組みを積極的に進めていくためには、その役割を担う中核組織が不可欠であり、積極的なイベント等の誘致活動と開催支援をワンストップで行うために、官民で構成するコンソーシアムの設立が必要と考えるが所見を伺う。</p>			答弁を 求める者	市長

【個人質問】

順位	1	質問者	岡野 茂	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 観光振興につながる施策・事業について	<p>(3) 本市の観光入込客や観光消費額で比較的大きな割合を占めているのは、「道の駅たかの」や「食彩館ゆめさくら」などの交流拠点施設である。</p> <p>今後、さらに観光消費額を増やしていける可能性は十分あると考えることから、老朽化した施設の改修や新たな魅力づくりのための施設整備を通して、さらに進化した交流拠点施設をめざすべきと感じている。</p> <p>計画的な改修・整備が必要と考えるが所見を伺う。</p>		市長	

【個人質問】

順位	1	質問者	岡野 茂	答弁を 求める者	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	
2. 地域課題の解決に向けた取り組みについて	<p>(1) それぞれの地域には、その地域特有の課題があるが、その解決に取り組むうえにおいて支所の役割は大きい。</p> <p>今後、庄原版コンパクト・ネットワーク事業の推進において、住民意見の集約やビジョンづくり、さらには、地域の実情に応じた交通体制の確立などに取り組む必要がある。</p> <p>しかし、現在の支所の職員体制では、新たな業務に取り組むには厳しい状況にあると感じている。</p> <p>全体的に職員が不足する中、今後、本庁と支所がどのように役割を分担し、事業をすすめていこうとしているのか伺う。</p> <hr/> <p>(2) 限られた人員で、地域課題解決に向けた取り組みや新たな事業を円滑に展開していくためには、自治振興区や社会福祉協議会、地域団体等と一緒に取り組む仕組みづくりが必要と考えるが、市長の所見を伺う。</p>			答弁を 求める者	市長

【個人質問】

順位	2	質問者	横路 政之	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者
1. 施政方針における本市のまちづくりについて	<p>(1) 施政方針において、本市の中長期的な方針として5つのリーディングプロジェクトが示された。</p> <p>このプロジェクトは冒頭、他の自治体に対して比較優位に立つための戦略であると位置づけられた。近隣市町といかに差別化を図り競争に競り勝つかというメッセージを発信されていると感じる。</p> <p>人口が減り続ける現状を考えると、市民一人一人が、その人らしく、健やかで、満足して生きている状態（ウェルビーイング）を競う方向性を持ちながら、市民ファーストに軸足を向けるべきと考えるが、見解を伺う。</p> <hr/> <p>(2) 「食糧とエネルギー自給の推進」において、バイオマス発電、小水力発電の実現の可能性を探っていくとされているが、市長の思いを伺う。</p> <hr/> <p>(3) 5つのリーディングプロジェクトでは、構想の策定、調査、計画策定、ビジョン策定などを業務委託されることになっているが、徹底的な市民意見の聴取の上での策定等が必要と考える。市長の見解を伺う。</p>			市長

【個人質問】

順位	3	質問者	堀内 富夫	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 新しい挑戦のためのリーディングプロジェクトについて	<p>市長は、第3期長期総合計画において、従来の延長線上ではない市政運営を掲げられ、3つの政策の柱を分野横断的に加速させるため、5つのリーディングプロジェクト「PEACE-full」を示された。</p> <p>本市の構造そのものを再構築していく挑戦であると受け止めており、その方向性には賛同する。</p> <p>一方で、令和8年度の予算から見ると、その多くが検討・計画等の策定に係る予算のみであることから、本プロジェクトが単年度の計画策定にとどまるものではなく、複数年にわたる実行計画として設計される必要があると考えている。</p> <p>(1) 3年程度の中期スパンで市民が成果を実感できる道筋が描かれているのか、市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 2つのリーディングプロジェクトを通じて、本市の産業構造や都市構造をどのように「再構築」することを目標としているのか。また、その到達状況を客観的に測る共通の成果指標や数値目標は設定されるのか伺う。</p>		市長	

【個人質問】

順位	3	質問者	堀内 富夫	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
<p>1. 新しい挑戦のためのリーディングプロジェクトについて</p>	<p>(3) このプロジェクトは、本市の構造の「再構築」に関わる重要な取り組みであり、市が主体的に進めていくものと認識している。</p> <p>計画をより良いものにするために、外部委託を活用するのであれば、その成果を最大化するとともに、委託期間中においても市民が前進を実感できるよう工程が可視化されるべきと考える。</p> <p>具体的にどのように設計され、策定後において確実に実行へ移すための統括や進捗管理の仕組みをどのように考えているのか伺う。</p>		<p>市長</p>	

【個人質問】

順位	3	質問者	堀内 富夫	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
2. 世代と組織の壁を越え、市民の力を活かす仕組みづくりについて	<p>人口減少や定年延長に伴い、まちづくりに関わる人材の構造が変化する中で、従来の行政主導型の体制だけでは地域を支え続けることが難しくなっていると考える。</p> <p>本市には、地域活動や事業、教育、福祉などの多様な分野で主体的に取り組む市民の力が存在しており、これらを活かす構造を明確に設計することが重要ではないかと考える。</p> <p>(1) こうした人材構造の変化を踏まえ、興味関心の異なる若者世代とシニア世代が、地域課題解決のために協働できる仕組みをどう設計していくのか、市長の考えを伺う。</p> <hr/> <p>(2) 第3期長期総合計画のスタートにあたり、本市が持続可能であるためには、長期総合計画の推進主体を「行政」から「官民共創」へと進化させ、多種多様な市民の力を政策形成や事業実施の中に組み込む行政運営へと転換する必要があると考えるが、市長の見解を伺う。</p>		市長	

【個人質問】

順位	4	質問者	谷口 隆明	答弁を 求める者	市長
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	
1. 施政方針と市長の重点施策について	<p>(1) 市長は施政方針で令和8年度予算について、市民サービスの提供、農林業の基盤産業化、競争力を高める戦略事業の実施に必要な予算を計上したとされ、5つのリーディングプロジェクトも示された。</p> <p>「未来につながる予算編成」に重点が置かれ、新年度をスタートの年とされたことは多とするところであるが、現に物価高騰に苦しむ市民への当面する支援の観点は弱いのではないか。市長の見解を伺う。</p>			市長	
	<p>(2) 当面の暮らしや営業の支援では、重点支援地方交付金「推奨事業メニュー」の交付限度額の残りの活用が急がれる。</p> <p>国は、中学校給食の無償化、低所得者世帯や高齢者世帯を対象とする灯油などの燃料負担への支援など、様々なメニューを示しているが、本市ではどのように活用するお考えか伺う。</p>				
	<p>(3) 5つのリーディング事業は市長の公約の具体化と受け止めている。</p> <p>特に、農林業・観光推進対策と「地産地消を推進するエネルギー政策」は市長の重点公約であり、26年度予算にも農林業分野の新規</p>				

【個人質問】

順位	4	質問者	谷口 隆明	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 施政方針と市長の重点施策について	<p>事業が多い。</p> <p>これらは市長のめざす基盤産業になるもの と考えるが、市長はこれら各分野の将来像、 目標をどのように描いておられるのか伺う。</p> <hr/> <p>(4) 施政方針では、「人口減少への適応の分野では、移住・定住の促進、関係人口の創出、都市機能の再編により、人口が減少する社会にあっても人口減少に適応した持続可能で豊かな地域社会の実現に向けて取り組む。」とある。</p> <p>人口減少は避けられないことだが、県内市の中でも、人口減少率が一番高い本市では、いかにそれを抑制するか、危機感と目標をもって取り組むべきではないか。</p>		市長	

【個人質問】

順位	4	質問者	谷口 隆明	答弁を 求める者
項目	質問の小項目及び要旨			市長
2. 国民健康保険の広域化による保険料の完全統一化は再考を	<p>国民健康保険被保険者の保険税負担は限界を超えているが、国保の県単位化によって、庄原市でも保険税をあげていかざるを得ない状況にある。</p> <p>全国知事会や市長会が要望している1兆円の国費投入増による国保税の協会けんぽ並みへの引き下げの実現を強く求め、県内市町で協議し、県単位化へ向けての取り組みを一時停止するよう問題提起することはできないのか伺う。</p>			市長